

科目ナンバー	EDU-1-008-ky			科目名	日本語教育概論		
教員名	渡邊 知釈			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	■海外および日本国内における日本語教育について、国際・地域社会、制度、言語としての日本語の特徴等の側面から概観する。■ふだん無意識に話している日本語の文法、音声、コミュニケーションを客観的にとらえる訓練を通して日本語指導に必要な基礎的知識を整理するとともに、論理的思考力を養い、自らの言葉遣いをふりかえる機会とする。■本学日本語教育関連科目群の基礎となるほか、将来、公的な日本語教師資格受験を志望する学生にとってはその入門となる。■日本語の文法や音声については主に英語との対照比較を行うため、英語の学習や教育に興味を持つ学生にとっても有益である。						
到達目標	■日本語教育の概要を理解し、日本語教育をとりまく社会的、国際的状況に関する認識を深める。■日本語の文法・音声・コミュニケーションについての基礎的な概念と用語を身につけ、未知のことがらを自ら調べることができる。■知的活動の基盤として、言語や自らの言葉遣いを客観的に捉える視点を身につける。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	■講師による講義と、受講者グループによるディスカッション・課題発表などを組み合わせて授業を進める。講義は内容の密度が高いため、不明点を放置せず、授業内ではいつでも質問を歓迎する。■グループ課題に際しては、授業外での調査・打ち合わせ・資料作成作業が必要となる。■グループ課題や小テストに対しては、授業中にフィードバックのための時間を設ける。■課題や連絡等はMoodleで確認すること。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		○
受講条件 前提科目	特になし。						
アセスメントポリシー及び評価方法	■学習プロセスの着実な実行(クラス・グループ活動への積極的参加、課題の提出):40%:◆たんに話を聞くだけでなく、クラス全体やグループでのディスカッションに対する積極的な参加が求められる。◆消極的・非協力的な姿勢(ディスカッションでの不適切な沈黙、授業に関係のない電子機器使用、居眠り等)があった場合は授業妨害とみなし厳しく減点する。■個人・グループ課題のパフォーマンス:30%◆上記の「プロセス」に加え、個人課題・グループ課題の完成度が評価対象となる。■小テスト・期末試験:30%・講義の理解度と課題への取り組みから得たものが評価対象となる。■※課題や連絡等はMoodleで確認すること。						
教材	必要に応じて配布する。						
参考図書	■今井新悟『いちばんやさしい日本語教育入門』アスク978-4866391915■野田尚史、野田春美『アクティブ・ラーニング対応 日本語を分析するレッスン』大修館書店(2017/4/7)978-4469213621■庵功雄『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワークISBN-13: 978-4883191550						

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	1.オリエンテーション		
授業外学修内容		時間数	
2週目			
授業学修内容	2.グループ作成/日本語の特徴		
授業外学修内容	グループ発表準備	時間数	2
3週目			
授業学修内容	3.日本語の構造:音声音韻1:音節とモーラ		
授業外学修内容	日本語母語話者の英語の発音について調べる/グループ発表準備	時間数	3
4週目			

授業学修内容	4.日本語の構造:音声音韻2:音の作り方		
授業外学修内容	復習／グループ発表準備	時間数	3
5週目			
授業学修内容	5.日本語の構造:音声音韻3:音声と音韻		
授業外学修内容	復習／グループ発表準備	時間数	6
6週目			
授業学修内容	6.日本語の構造:音声音韻4:母語話者があまり意識しない音:グループ発表		
授業外学修内容	日本語の音声音韻復習／テスト準備	時間数	2
7週目			
授業学修内容	7.日本語の構造:音声音韻5:グループ発表FB		
授業外学修内容	講義を受けたうえであらためて日本語音声について調べる	時間数	2
8週目			
授業学修内容	8.小テスト①／日本語の構造:文法1:文法の考え方		
授業外学修内容	宣言的知識と手続き的知識について調べる／グループ発表準備	時間数	4
9週目			
授業学修内容	9.日本語の構造:文法2:国語文法と日本語教育文法		
授業外学修内容	日本語教育文法についてさらに調べる／グループ発表準備	時間数	4
10週目			
授業学修内容	10.日本語の構造:文法3:格助詞と副助詞(係助詞)		
授業外学修内容	有題文と無題文について調べる／グループ発表準備	時間数	5
11週目			
授業学修内容	11.日本語の構造:文法4:学習者が難しいと感じる文法項目1:グループ発表1／フィードバック		
授業外学修内容	グループ発表準備	時間数	5
12週目			
授業学修内容	12.日本語の構造:文法5:学習者が難しいと感じる文法項目2:グループ発表2／フィードバック		
授業外学修内容	取り上げられた文法項目についての調べ学習／テスト準備	時間数	2
13週目			
授業学修内容	13.日本語の構造:文法6:待遇表現・敬語		
授業外学修内容	敬語についての調べ学習	時間数	2
14週目			
授業学修内容	14.小テスト②／国内・海外の日本語教育		
授業外学修内容	国内・海外の日本語教育の動向についての調べ学習	時間数	2
15週目			
授業学修内容	15.日本語教育の現場と異文化コミュニケーション		
授業外学修内容	フィードバックレポート／総復習:試験準備	時間数	6
上記の授業外学修時間の合計		48	
その他に必要な自習時間		42	

Number	EDU-1-008-ky	Subject	Outline of Japanese Teaching			
Name	渡邊 知釈 (Watanabe Tomoseki)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2	
Course outline	<p>This course oversees Teaching Japanese as a Second/Foreign, in both domestic and overseas settings, from the aspects of linguistic features, local and international community, institution, etc.. ■ The course helps you organize the basic knowledge needed when teaching Japanese language, by training to objectively grasp its grammar, speech sound, and communication which are unconsciously used by native speakers. At the same time, it will be an opportunity to cultivate logical thinking skill and to reflect on your own wording. ■ This course is the foundation for the group of subjects related to the university's program of Teaching Japanese as a Second/Foreign Language. Also, it will be an introduction for students who wish to take the "Japanese Language Teaching Competency Test" in the future. Japanese grammar and speech sound are mainly compared with those of English, so it is also beneficial for students who are interested in English learning and education.</p>					